適性検査3

注　　意

1　検査開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。

2　検査時間は 45 分間で、終わりは午後 0 時 15 分です。

3　問題は　1　**問1**　から　**問3**

　　2　**問1**　から　**問3**

　　3　**問1**　から　**問3**　まであります。

4　問題用紙は 1 ページから 20 ページまであります。検査開始の指示後、すぐにページがそろっているかを確認(かくにん)しなさい。

5　解答用紙は 2 枚(まい)あります。

6　受検番号をそれぞれの解答用紙の決められた場所に記入しなさい。

7　解答は全て解答用紙に記入し、解答用紙のみ 2 枚とも提出しなさい。

令和七年

このページには問題が印刷されていません。

問題は次のページからです。

1　こうきさんとゆきえさん、先生の３人が話をしています。

〔こうき〕　最近、ペットボトルに入った水をよく飲むよ。
〔ゆきえ〕　私の家でも、料理のときにペットボトルに入った水を使うよ。
〔先　生〕　容器に入った水は、「ミネラルウォーター類」とよばれます。（**[資料１]**）

[資料１] 日本の「ミネラルウォーター類」の分類と日本国内生産割合

品名	処理を行う前の水（原水）	2023年度の日本国内生産割合
「ナチュラルウォーター」	特定の水源から採取された地下水	97.6%
「ナチュラルミネラルウォーター」	ナチュラルウォーターのうち、*ミネラル成分がとけこんだ地下水	97.4%
「ミネラルウォーター」	何種類かの「ナチュラルミネラルウォーター」を混合したり、人工的にミネラル成分を調整したりしたもの	0.3%
「ボトルドウォーター」または「飲用水」	上記以外の容器入り飲用水（容器に入った水道水など）	2.2%

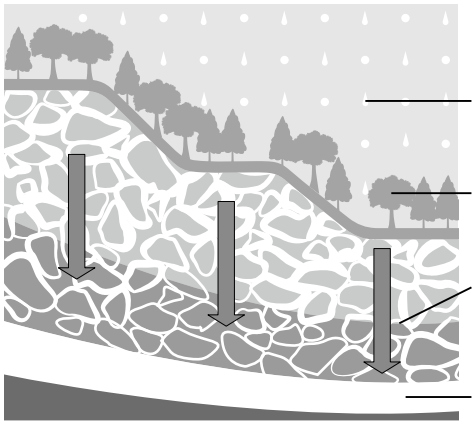
＊ミネラル成分：人体に必要な栄養素の１つ。

（品名と処理を行う前の水（原水）は農林水産省「ミネラルウォーター類の品質表示ガイドライン」、2023年度の日本国内生産割合は日本ミネラルウォーター協会「品名別生産数量構成の推移」より作成）

〔ゆきえ〕「ミネラルウォーター類」の分類は、水を採取する場所や成分などが関係しているんだね。ミネラル成分はどのようにとけこむのでしょうか。
〔先　生〕**[資料２]**が参考になります。

[資料２] ミネラル成分がとけこんだ地下水

水がゆっくりと地中に浸透していく途中や、地下にとどまっているなかで、栄養分やミネラル成分をふくんでいく



〔こうき〕　日本の「ミネラルウォーター類」は、主にどのような地域で生産されているのでしょうか。

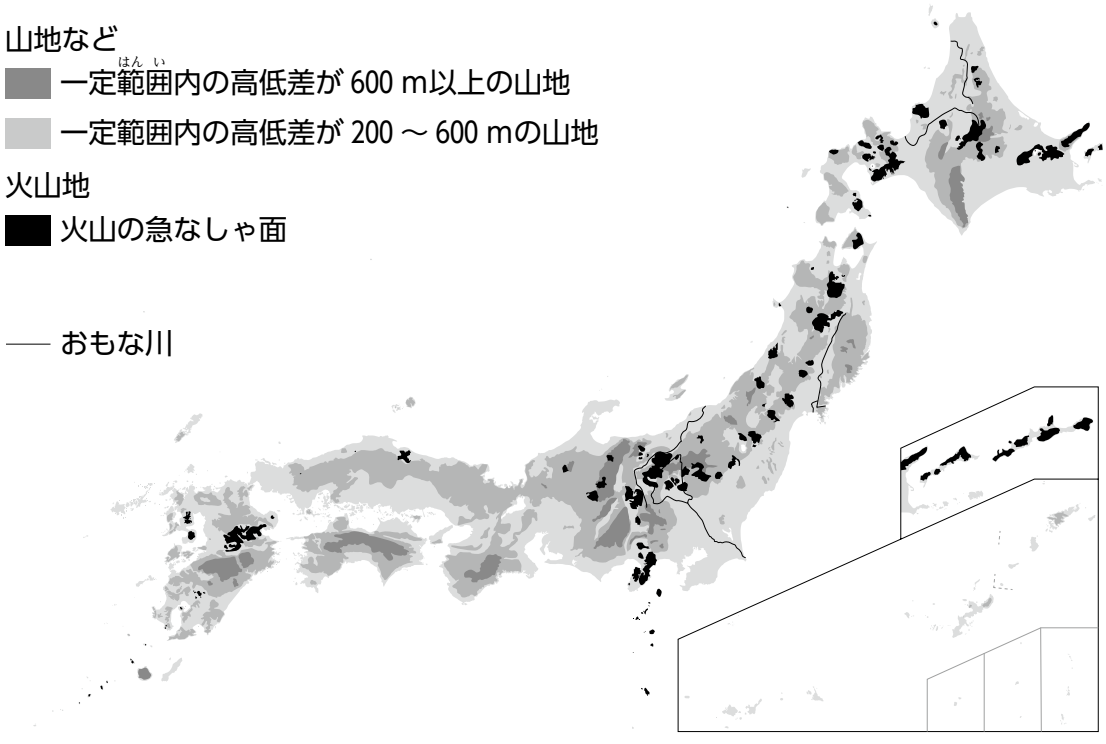
〔先　生〕　都道府県別の生産数量と、その地域の人口や地形から考えてみましょう。（**[資料３]**、**[資料４]**）

[資料３] 都道府県別「ミネラルウォーター類」の生産数量と人口（2020 年）

生産数量の上位５県			生産数量の下位５県		
	生産数量（kL）	人口（人）		生産数量（kL）	人口（人）
山梨	1,551,605	809,974	山口	46	1,342,059
静岡	559,664	3,633,202	東京	38	14,047,594
鳥取	352,368	553,407	岡山	15	1,888,432
岐阜	286,688	1,978,742	千葉	14	6,284,480
熊本	202,254	1,738,301	茨城	0	2,867,009

（生産数量は日本ミネラルウォーター協会「都道府県別生産数量の推移」、人口は総務省統計局「令和２年国勢調査」より作成）

[資料４] 日本の地形



（国土地理院『新版日本国勢地図（1990 年刊行）』より作成）

問1

次の文章は、こうきさん、ゆきえさんが日本で生産されている「ミネラルウォーター類」の生産について、**[資料1]**、**[資料2]**、**[資料3]**、**[資料4]** から考えられることをまとめたものです。

日本国内の「ミネラルウォーター類」の生産割合をみると、（　ア　）の生産割合が一番多いことが分かる。また、都道府県別にみると、（　イ　）での生産数量が比較的（ひかくてき）多いことが分かる。これらの地域は（　ウ　）ため、「ミネラルウォーター類」の中でも（　ア　）の採取に適していると考えられる。

（1）　文中の空らん（　ア　）、（　イ　）にあてはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④から一つ選び番号で答えなさい。

① ア 「ボトルドウォーター」または「飲用水」　イ 広い平野部の地域
② ア 「ナチュラルミネラルウォーター」　イ 広い平野部の地域
③ ア 「ボトルドウォーター」または「飲用水」　イ 山地や山脈が多い地域
④ ア 「ナチュラルミネラルウォーター」　イ 山地や山脈が多い地域

（2）　文中の空らん（　ウ　）にあてはまる説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び番号で答えなさい。

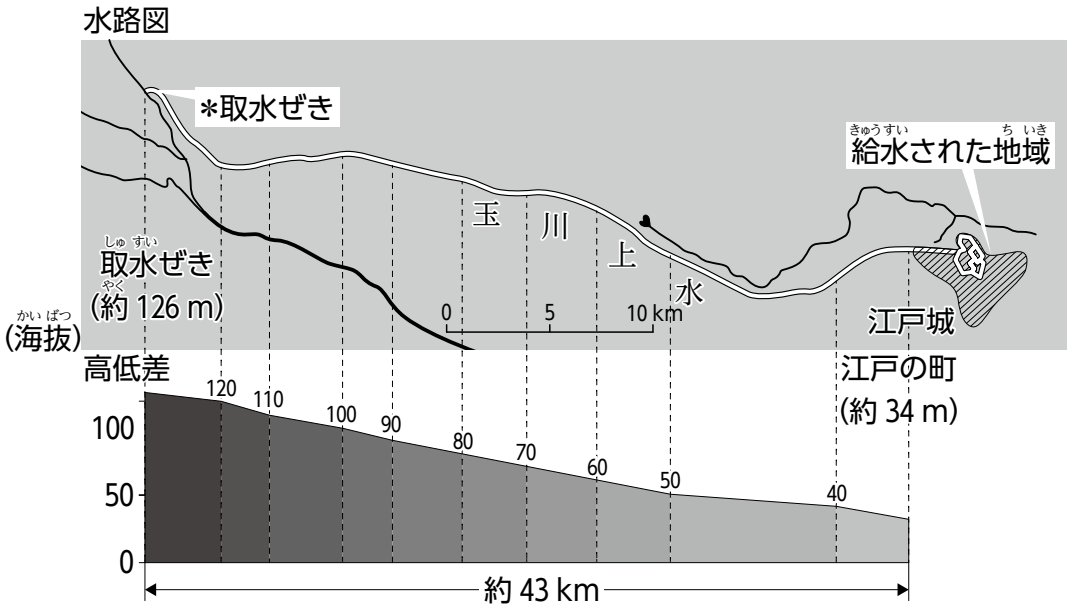
① 都道府県内に 500 万人以上の人々が住み、大量消費が期待される
② 大きな河川（かせん）の下流域であり、十分な水量を確保できる
③ 雨水が浸透する豊かな森林や、ミネラル成分を多くふくむ地質の地域が多くある
④ 海に面しており、海外向けの輸出に適している

〔先　生〕 人々は、これまでの歴史の中で、様々な方法を用いて飲用水を確保してきました。飲用水を供給するための水道を「上水道」と言います。

〔こうき〕 上水道にはどのようなものがあるのかな。

〔ゆきえ〕 そういえば、社会の授業で、「玉川上水」について学んだね。（**[資料５]**）

[資料５] 玉川上水の水路図と、取水ぜきから江戸の町までの高低差



＊取水ぜき：上水道に水を送るために、川の水の一部をせき止めて流れる水の量を調整するもの。

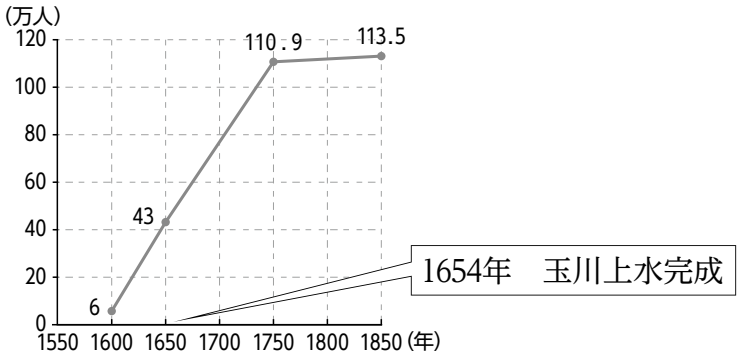
（新宿区みどり土木部みどり公園課資料より作成）

〔先　生〕 江戸時代につくられた上水道ですね。明治時代まで残っていたものは、「神田上水」と、「玉川上水」の２本です。

〔ゆきえ〕 この２本は同じ時期につくられたのですか。

〔先　生〕 そうではありません。初めに「神田上水」がつくられ、利用されていました。しかし、変化していく江戸の町に合わせて、1654 年に「玉川上水」が新たにつくられました。（**[資料６]**）

[資料６] 江戸の町の人口の変化

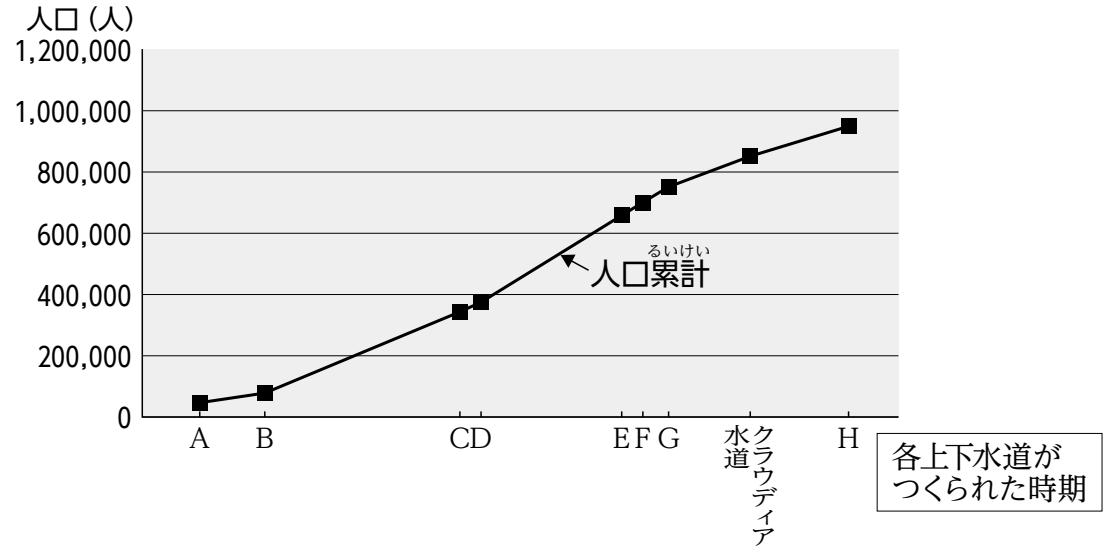


（高島正憲『賃金の日本史』より作成）

〔こうき〕「玉川上水」より前の時代につくられた上水道はありますか。

〔先　生〕 例えば、およそ 2700 年前から約 900 年間栄えた古代ローマでは、都市の移り変わりに合わせて複数本の大きな上水道が順番につくられていきました。その中の 1 つに、クラウディア水道があります。（**[資料７]**）

[資料７] ローマ上水道における上水道がつくられた時期と人口の変化



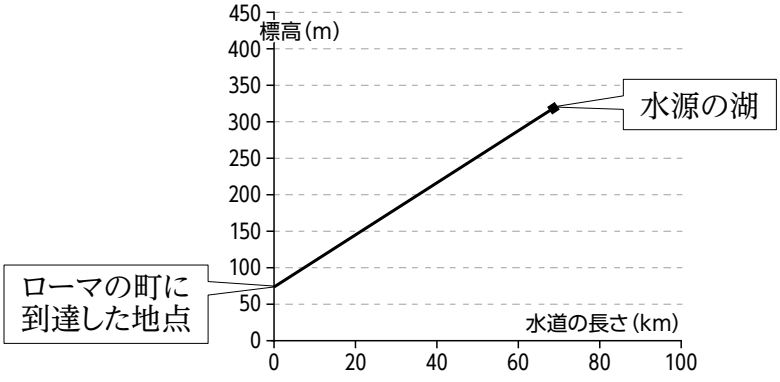
＊クラウディア水道以外の上水道の名称については、アルファベットで表記している。

（中川良隆『水道が語るローマ繁栄史』より作成）

〔ゆきえ〕 クラウディア水道とはどのような上水道なのですか。

〔先　生〕 この上水道は、水源である湖と、ローマの町の外側との間の 68.98 km をつなげた水道です。地下を通したり、建設した橋の上を通したりして、ローマまで水を送りました。（**[資料８]**）

[資料８] クラウディア水道の水源からローマの町までの高低差



（中川良隆『水道が語るローマ繁栄史』より作成）

〔こうき〕　ポンプなどがまだ使用されていない時代でも、工夫して水を届けていたんだね。

〔ゆきえ〕　そうだね。江戸時代と古代ローマの上水道に関する共通点もわかったね。数百年、数千年も前のことでも、くわしく調べられたね。（**[資料９]**）

[資料９] 江戸時代につくられた上水道と古代ローマでつくられた上水道に関する年表

江戸時代につくられた上水道の歴史	
1791	幕府の役人が*1『上水記』を記す
1803	幕府の役人が*2『玉川上水起元』を記す
1999	玉川上水が*3歴史環境保全地域に指定される
2003	玉川上水が国の史跡に指定される

古代ローマでつくられた上水道の歴史	
紀元前22～33ごろ	建築家が*4『建築書』を記す
97	水道長官が*5『水道書』を記す
1985	*6ガール水道橋（ポン・デュ・ガール）が世界文化遺産に登録される
1988	ローマ水道橋公園が設立される

＊1『上水記』：神田上水や玉川上水など、江戸上水に関する幕府の公式記録
＊2『玉川上水起元』：玉川上水の工事などに関する報告書
＊3歴史環境保全地域：東京都が指定する、歴史的遺産とあわせて自然を保護することが必要な土地の区域
＊4『建築書』：古代ローマの建物や水路、井戸などの建築方法などについて書かれた論文集
＊5『水道書』：ローマの水道の状態についての正式報告書
＊6ガール水道橋（ポン・デュ・ガール）：ローマが支配していた地域であるガールの町の近くに水を送る目的でつくられた橋

問２

（１）　江戸時代と古代ローマの上水道の歴史を比べて、どのような共通点があるか**[資料５]**、**[資料６]**、**[資料７]**、**[資料８]**をふまえて、以下の【条件】に従って二つ答えなさい。

【条件】

・新たな上水道が整備されたころに都市で起きた変化をふまえること。

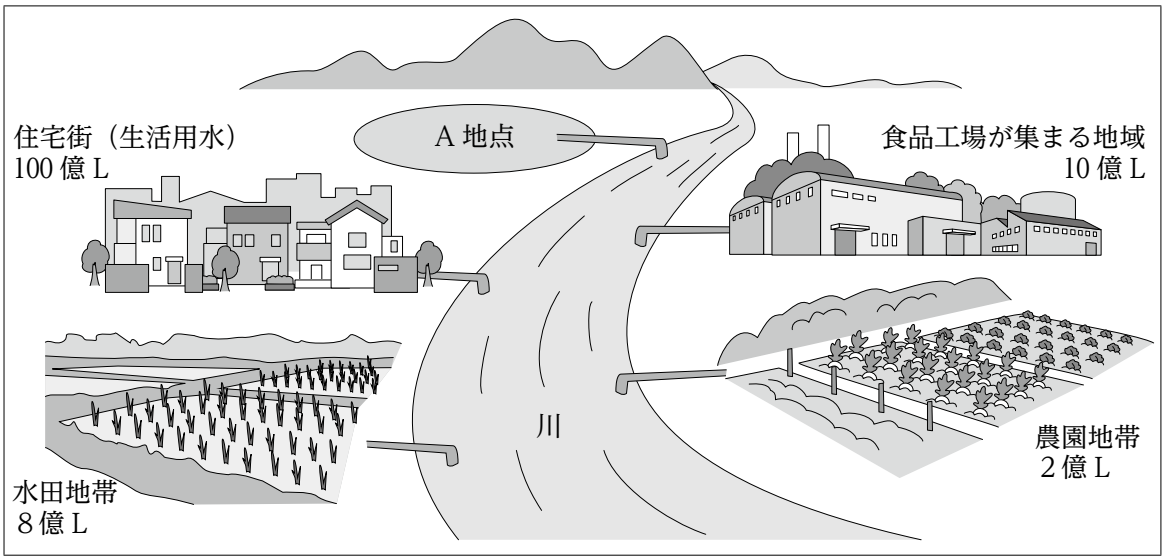
・遠くから水を送るときのしくみや工夫にふれること。

（２）　現代を生きる私たちが、江戸時代や古代ローマの上水道について知ることができるのはなぜか、**[資料９]**をふまえて二つ答えなさい。

〔こうき〕　水はいつの時代も重要な資源ですね。
〔先　生〕　地球上に存在する水の中で、飲用水として用いることができるのはごく一部だと言われています。また、飲用水以外にも、水は様々な場面で私たちの生活を支えているため、ときに水資源の分配方法をめぐって問題が起こります。
〔ゆきえ〕　はっきりとした正解のない問題でも、よりよい解決案をみんなで考えていきたいですね。

問3

架空（かくう）の地域における川の水資源の分配について考えてみましょう。
この川では、以下の図のようにそれぞれの地域に水が送られています。



今後、新たにA地点に、複数の企業（きぎょう）で電子部品工場が集まる地域をつくり、年間20億Lの水の使用を希望しています。その場合、それ以外の食品工場が集まる地域や住宅街、農園地帯、水田地帯では、今まで希望していたのと同じ量の水を使用できなくなる可能性が出てきました。そこで、水の配分方法を5つの地域の関係者が話し合い、①と②の2つの案が出されました。それぞれどのような考え方に基（もと）づくものか、以下の条件をふまえ、数字を用いて具体的に説明しなさい。

①　電子部品工場が集まる地域は、年間10億Lまで水を使用することとする。
②　電子部品工場が集まる地域は、年間15億Lまで水を使用することとする。

【条件】
・それぞれの地域が希望する最大の水量は、上の図のとおりである。
・川から1年間に使用できる水量は130億Lとする。
・生活用水は、人々の生活に必要な水を確保しているため、水量は減らさないこととする。
・上の図の5つの地域以外で使用される水については、考えないこととする。

このページには問題が印刷されていません。

2　あやなさんとゆうじさんは、夏休みの自由研究で手打ちうどんをつくりました。そのときのことを思い出して、２人が会話しています。

〔あやな〕　夏休みの自由研究で手打ちうどんをつくったね。
〔ゆうじ〕　つくり方を思い出してみようか。（**[資料１]**）

[資料１]　２人がつくった手打ちうどんについて

【材料】
小麦粉、食塩、水

【手順】
①　食塩と水を混ぜて、食塩水をつくる。さらに小麦粉と食塩水を混ぜて、よくこねる。
②　こねて出来上がった生地（きじ）を丸くまとめ、乾燥（かんそう）しないようにビニール袋（ぶくろ）に入れてねかせておく。
③　ねかせ終わったら、棒（ぼう）を使って丸い形に生地をのばす。
④　生地をたたんで３mm ほどの太さに切る。
⑤　なべにふっとうしたお湯を用意する。切り終えたものをゆでる。
⑥　ゆで上がったら、手早くザルにあげ、水で洗（あら）う。

〔ゆうじ〕　手打ちうどんをつくるときは、最初に小麦粉と食塩水が必要だったね。
〔あやな〕　季節によって、食塩水にふくまれる食塩の割合（わりあい）を変える必要があるということを調べたね。うどんの生地は気温が高くなるとやわらかく、低くなるとかたくなるんだよ。さらに、塩には小麦粉の生地をかたくする性質があるんだって。だから、どの季節でも一定のかたさにするため、手打ちうどんをつくるときに、食塩水にふくまれる食塩の割合を決めて、つくることにしたよ。（**[資料２]**）

[資料２]　２人が調べた手打ちうどんの小麦粉と食塩水の関係について

	春・秋	夏	冬
食塩水の量	小麦粉の重さの 50%の重さ（小麦粉の半分の量）		
食塩水にふくまれる食塩の割合	11%	13%	10%

〔あやな〕　私(わたし)たちは、夏休みの自由研究だったから、食塩の割合を多くしたね。

問1

[資料2]をふまえて、以下の(　ア　)～(　ウ　)にあてはまる数を書きなさい。

1000gの小麦粉を使って手打ちうどんをつくるとき、

① 春・秋の場合…食塩を55g、水を445g用意する。
② 夏の場合　　…食塩を(　ア　)g、水を435g用意する。
③ 冬の場合　　…食塩を(　イ　)g、水を(　ウ　)g用意する。

〔ゆうじ〕　そういえば、つくった手打ちうどんをゆでていると、ゆで汁がふきこぼれたよね。でも、さいばしを使ってうどんをかき混ぜながらゆでていると、ふきこぼれはなかった。その後、かき混ぜることをやめたら、また急にふきこぼれてしまったよね。なぜだろう。

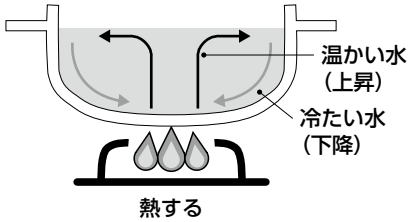
〔あやな〕　私も気になったので、調べてみたよ。これには、うどんからとけ出してくるでんぷんと対流とよばれる水の流れが関係しているみたいだよ。
(**[資料3]**、**[資料4]**)

[資料3] あやなさんが調べたメモ　「うどんにふくまれるでんぷんについて」

うどんの主成分である小麦粉は、でんぷんをふくむ。
うどんはお湯で温められることで、小麦粉にふくまれるでんぷんがゆで汁(じる)にとけ出す。それにより、ゆで汁は白くにごり、ねばりけのある汁へと変わっていく。

[資料4] あやなさんが調べたメモ　「対流について」

図のように、熱せられているなべの中では、水は上昇(じょうしょう)と下降(かこう)をくり返す。このような水の流れを対流という。ふっとうするときに出てくる泡(あわ)も下から上へと押(お)し上げられていく。



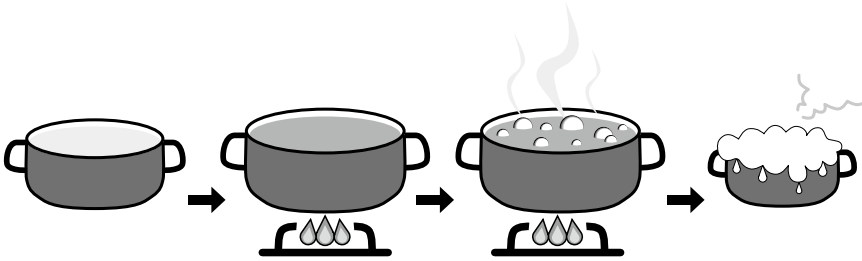
底のほうの水は温められ上昇し、
上のほうの温められていない水は下降する

〔あやな〕　うどんも対流にのって、なべの真ん中から上がってきて、なべのかべの方からしずんでいくのを見ることができたよ。

〔ゆうじ〕　でんぷんと対流の話は分かったけど、それがどのようにふきこぼれに関係しているのかな。（**[資料５]**）

[資料５] あやなさんが調べたメモ　「ふきこぼれについて」

ねばりけのあるゆで汁が、ふっとうで出てきた泡をつつみこむ膜（まく）となることで、泡が消えにくくなる。そして、ふっとうによって、泡が上へ上へとその膜を押し上げていき、ゆで汁がなべのふちをこえて、ふきこぼれが起こる。



〔ゆうじ〕　でんぷんによって、ふっとうで出てきた泡が消えにくくなるのが原因なんだね。さいばしでかき混ぜる方法以外にも、何かふきこぼれを防ぐ方法はあるかな。

〔あやな〕　そうだね、調べてみよう。（**[資料６]**）

[資料６] あやなさんが調べたメモ　「ふきこぼれを防ぐ方法とその理由」

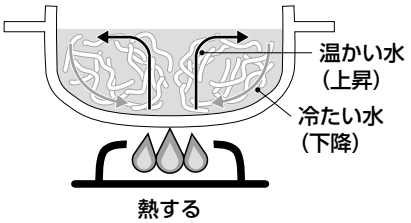
方法	理由
さいばしでかき混ぜる	でんぷんのねばりけによってできる膜をこわすため。
さいばしをなべの上に置く	でんぷんのねばりけによってできる膜がふっとうによってなべのふちまで上がってくる。その膜をこわすため。
ゆで汁にサラダ油を入れる	サラダ油を少し入れることで、でんぷんのねばりけによってできる膜をできにくくするため。
少し水を加える	ふっとうしすぎないように温度を調節するため。

〔ゆうじ〕　ふきこぼれを防ぐ方法はいくつかあるんだね。

問２

下の図は、なべの内部を横から見た様子（**図１**）と、上から見た様子（**図２**、**図３**）である。さいばしを**図２**のようにならべて置くより、**図３**のように置いた方が、よりふきこぼれをおさえることができる。その理由を説明しなさい。

［なべの内部を横から見た様子］



底のほうの水は温められ上昇し、
上のほうの温められていない水は下降する

図１

［なべを上から見た様子］

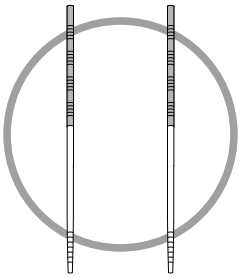


図２

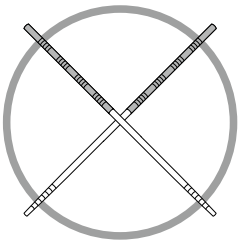


図３

〔あやな〕　ふきこぼれについて、分かったよ。実際にうどんを食べるために、めんつゆもつくったよね。めんつゆは**［資料７］**のようにつくったよ。

［資料７］２人が考えた手づくりめんつゆについて

なべの中に、みりん、しょう油を 100 g ずつ入れ、そこに砂糖（さとう）を大さじ２はい、塩をひとつまみ入れる。さらに、こんぶやかつお節を入れて、それらをふっとうさせるとできる。

今回つくった手づくりめんつゆでうどんを食べる際には、めんつゆと同じ量の水でうすめて食べるものとする。

〔ゆうじ〕　実際にうどんを食べたけど、もっと冷たいめんつゆでうどんを食べてみたいと思ったよ。およそ０℃の水でうすめたら、実際にめんつゆの温度はどのくらい下がるか、実験をしてみよう。（**［資料８］**）

［資料８］めんつゆをおよそ０℃の冷たい水でうすめる実験とその結果

室温が 25℃の部屋で、３つの容器に、40℃、60℃、80℃のめんつゆを 50ｇずつ用意する。それぞれの容器におよそ０℃の冷たい水を 50ｇずつ加えて、よくかき混ぜながら、めんつゆの温度変化を記録した。

結果

	めんつゆの温度		
およそ０℃の冷たい水でうすめる前	40℃	60℃	80℃
３分後	20.2℃	27℃	36.5℃
５分後	21℃	25.5℃	34℃
10 分後	21.8℃	25℃	33℃

それぞれのめんつゆの温度は、時間が経過するにつれて一定になっていった。

〔ゆうじ〕　もっと冷たいめんつゆでうどんを食べたいときは、冷たい水の代わりに氷を入れてうすめればいいのかな。どのくらい温度の変化があるかを実験してみようか。（**[資料９]**）

［資料９］めんつゆを氷でうすめる実験とその結果

室温が 25℃の部屋で、３つの容器に、40℃、60℃、80℃のめんつゆを 50ｇずつ用意する。それぞれの容器に、冷凍庫から取り出した氷を 50ｇ入れる。よくかき混ぜながら、氷のとけ具合とめんつゆの温度変化を記録した。なお、０より小さい数字には、数字の前に「－」を書いて表す。

（例）　０℃より 1.5℃温度が低いときは、－ 1.5℃となる。

結果

氷でうすめる前のめんつゆの温度	40℃		60℃		80℃	
	めんつゆの温度	氷	めんつゆの温度	氷	めんつゆの温度	氷
３分後	－ 1.5℃	残っている	（　A　）	残っている	０℃	ほとんど残っていない
５分後	－ 1.8℃	残っている	（　B　）	ほとんど残っていない	３℃	残っていない
10 分後	－ 0.8℃	ほとんど残っていない	（　C　）	残っていない	６℃	残っていない

〔ゆうじ〕　めんつゆの温度は氷でうすめるほうがおよそ０℃の水より温度が下がるんだね。それはなぜだろう。あと、めんつゆが０℃より低い温度になっても液体のままであるのも気になるね。

〔あやな〕　今回行った実験に関して、調べて考察をまとめてみたよ。（**[資料１０]**）

[資料１０]実験のまとめ

【①　氷の方がおよそ０℃の水よりめんつゆの温度を低くすることについて】

　めんつゆを冷やすために入れた氷は、時間がたつと、どんどん小さくなっていく。

　これは、めんつゆがもっている熱によって、氷がとけていくからだと考えた。

⇒氷で冷やすことによって、ただめんつゆの温度を下げるだけでなく、氷が水に変わるときにさらにめんつゆの温度を下げる。

【②　めんつゆが０℃より低い温度になっても液体のままであることについて】

　氷がとけきらないときでもめんつゆの温度が０℃よりも低くなっている理由は、実験しているときの気温や湿度（しつど）による影響（えいきょう）と、いろいろなものが混ざり合ってできているめんつゆの温度変化が水とはことなるからである。

問３

[資料９]の（　Ａ　）～（　Ｃ　）に入ると考えられる適切な温度を、表の40℃、80℃のときを参考にして、答えなさい。また、（　Ａ　）に入る温度については、理由も答えなさい。ただし、60℃のめんつゆは、氷を入れてから３分後に最も低い温度になったとする。

〔ゆうじ〕　うどんをつくって食べるまでに科学的な現象がたくさん起きているんだね。

3　まささきさん、なつみさん、先生の３人が本をつくる話をしています。

〔まさき〕　クラス分の夏休みの自由研究をまとめていたら、枚数(まいすう)が多くなってばらばらになってしまったよ。用紙をうまくまとめる方法は何かないかな。

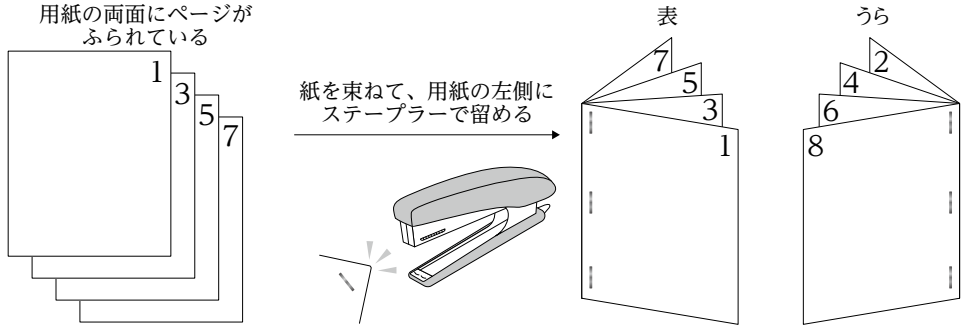
〔なつみ〕　私(わたし)は、クラスの調べ学習を１冊の本にまとめようと思っているよ。

〔まさき〕　それはいいね。私もつくりたいな。先生、本をつくりたいのですが、どうすればいいですか。

〔先　生〕　では、自分たちで本をつくりましょう。今回は、算数の教科書のように右から左にページをめくる本をつくることにしましょう。複数の用紙をまとめて本にする工程のことを「製本」といいます。例えば、みなさんがよく知っている製本方法の一つに「平とじ」といわれるものがあります。（**[資料１]**）

[資料１] 平とじの製本方法について

平とじとは、下の図のように用紙を束ね、そのはしをステープラーのしんで留める方法である。なお、用紙の上部にある数字は、ページ番号を表す。ページ番号は用紙の両面にふられている。



ただし、使用するステープラーや用紙の種類によって、留めることができる用紙の枚数が変わる。用紙の枚数が多すぎると、しんが用紙を通りきらず、留めることができない。

問１

以下の【条件】で製本するとき、**[資料１]**をふまえると、最大何ページまで平とじで製本することができますか。求める過程を、式を用いて文章で答えなさい。

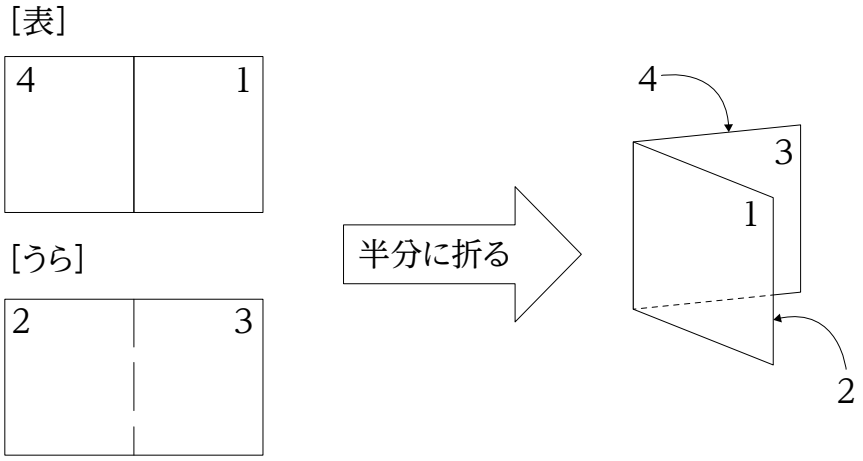
【条件】　・使用する用紙の厚さは１枚あたり 0.1 mm とする。
　　・留めることができる紙の厚さの合計は 3.5 mm よりうすいものとする。

〔まさき〕　平とじは見たことあります。製本方法はほかにもありますか。
〔先　生〕「中(なか)とじ」という方法もありますよ。（**[資料２]**）

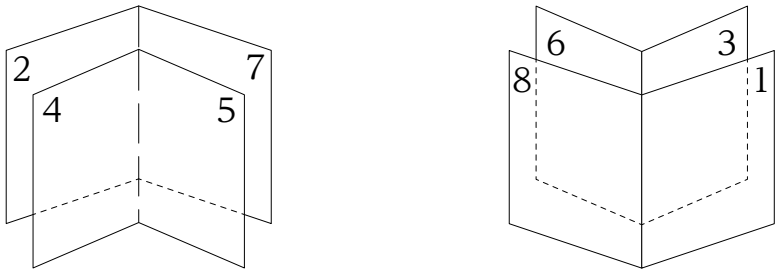
[資料２] 中とじの製本方法について

中とじとは、長方形の用紙の向かい合う辺どうしを合わせるように折り、それらを重ね、折りめのところをステープラーで留める方法である。下の図の用紙の上部にある数字は、ページ番号を表す。ページ番号は用紙の両面にふられている。

４ページ分のとき



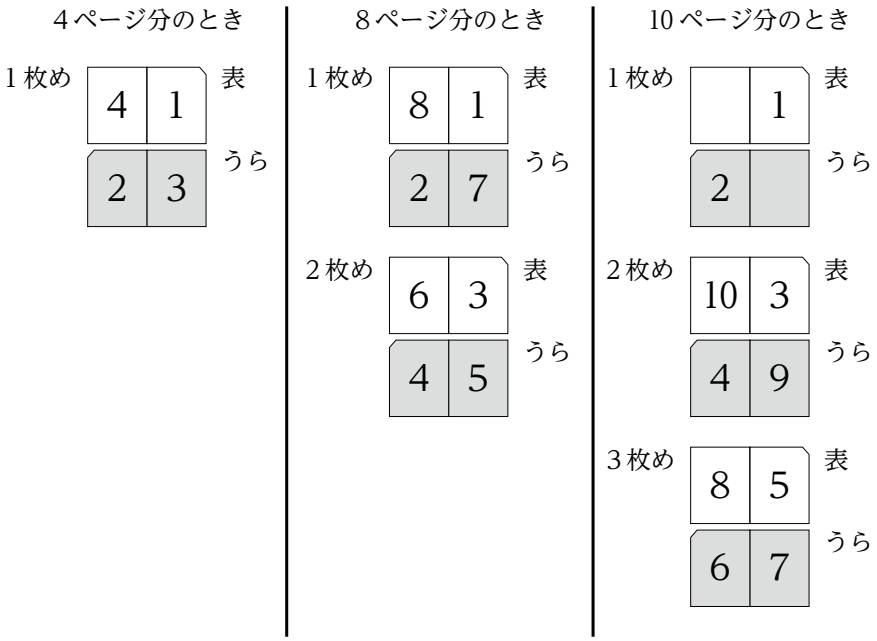
８ページ分のとき



〔なつみ〕　用紙のどの部分が何ページめになるかを考えなくてはならないね。
〔まさき〕　ページ数をふやしたとき、用紙の何枚めのどこに何ページめがくるかを考えてみよう。（**[資料３]**）

［資料３］ページ番号を増やしたときのページの位置

今回は、ページをふっていったときに、ページ番号が最も小さいページがある面を表としている。また、下の図では、表･うらが分かるように、１つの角を切った形にしている。



中とじで製本すると、10ページ分で製本したときのように白紙のページが出てくることがある。今回は、白紙のページが、最後のページになるように配置する。

〔まさき〕　規則性がありそうだね。

〔先　生〕　では、さっそくまさきさんの原こうを中とじで製本してみましょう。

問２

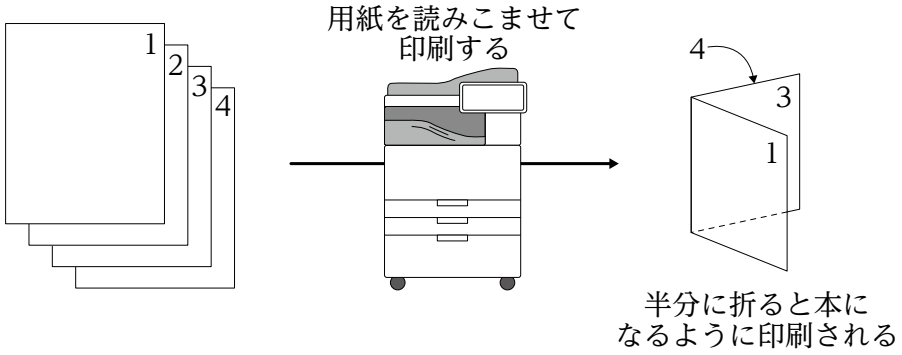
まさきさんが、クラス分の夏休みの自由研究45ページ分を中とじで製本するときの、用紙の１枚め、２枚め、10枚めのページ数を**［資料２］**、**［資料３］**をふまえて、解答らんに合うように答えなさい。ただし、白紙のページにあたるところは何も書かなくてよい。

〔なつみ〕　クラスでまとめた調べ学習を製本したいのですが、どのようにすればよいでしょうか。

〔先　生〕　印刷機で原こうを読み取って、製本しましょう。（**［資料４］**）

［資料４］印刷機を使って中とじの形に印刷する機能

下の図は、４ページ分の原こうを印刷機に読みこませて中とじの形に印刷したことを示している。

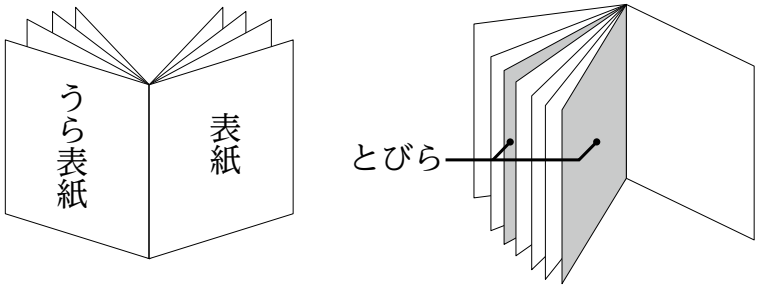


〔なつみ〕　今回、１班から４班までの調べ学習を１冊にまとめた本をつくりたいんだ。友達が書いてくれた絵をうら表紙にいれたいな。また、本の中に班ごとの表紙、つまりとびらを付けようと思うよ。（**［資料５］**）

［資料５］表紙、うら表紙、とびらについて

本を開くとき、先頭にあたる部分を表紙というのに対し、反対側をうら表紙という。

本の中にある、内容の区切りや章が始まる入口となるページのことをとびらという。



〔なつみ〕　１冊の本をつくるにあたって、イメージと決まりごとも考えたよ。（**［資料６］**）

［資料６］製本するときのイメージと決まりごと

【イメージ】

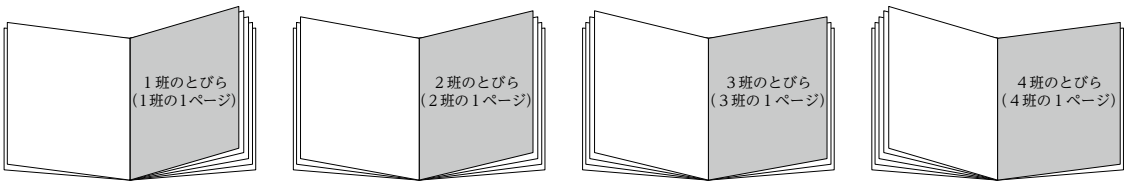
ページ番号	内容
1	表紙
2	目次
3	１班のとびら（１班の１ページめ）
4	１班の２ページめ
5	１班の３ページめ
：	：
	１班の最終ページ
	２班のとびら（２班の１ページめ）
	２班の２ページめ
	２班の３ページめ
：	：
	２班の最終ページ
	３班のとびら（３班の１ページめ）
	３班の２ページめ
	３班の３ページめ

ページ番号	内容
：	：
	３班の最終ページ
	４班のとびら（４班の１ページめ）
	４班の２ページめ
	４班の３ページめ
：	：
	４班の最終ページ
	あとがき
	うら表紙

表紙、うら表紙、各班のとびらは１ページ分として数えている。

【決まりごと】

・表紙、目次、あとがき、うら表紙をそれぞれ１ページ分作成する。
・１班、２班、３班、４班の順にのせる。
・白紙のページはつくらない。
・各班の最初のページは必ずとびら（班ごとの表紙）とする。また、各班のとびらは、下の図のように、開いたときに右側になるようにする。



〔先　生〕　いい考えです。開いたときの右側が班のとびらになるようにしていますね。
〔なつみ〕　印刷したとき、白紙のページがないようにするために、各班の調べ学習に関する絵のページを追加したいと思います。（**［資料７］**）

［資料７］絵のページを追加したときのページ番号の変化の例

絵のページを追加するときは、１ページ分増えることになる。下の例では、１班と４班が絵のページを追加している。このとき、本全体のページ数は２ページ分増えることになる。

絵をいれる前

ページ番号	内容
1	表紙
2	目次
3	１班のとびら（１班の１ページめ）
4	１班の２ページめ
5	１班の３ページめ
6	１班の４ページめ
：	：
	４班の最終ページ
	あとがき
	うら表紙

絵を
のせる
→

絵をいれた後

ページ番号	内容
1	表紙
2	目次
3	１班のとびら（１班の１ページめ）
4	１班の２ページめ
5	調べ学習に関する絵
6	１班の３ページめ
7	１班の４ページめ
：	：
	調べ学習に関する絵
	４班の最終ページ
	あとがき
	うら表紙

〔まさき〕　全体のバランスを考えながら、絵を何ページ分追加するか決めよう。

問３

なつみさんとまさきさんは、絵のページを追加して製本しようとしています。このとき、各班にそれぞれ何ページ分の絵を追加するべきでしょうか。次の【条件】に従（したが）って答えなさい。

【条件】

・**［資料６］**の【決まりごと】に従うこと。

・追加できる絵のページ数は、各班２ページ分までとする。

・絵を追加しない班があってもよいものとする。

・絵を追加する前のページ数は、次のとおりである。

班	１班	２班	３班	４班
ページ数（班のとびらをふくめる）	８ページ分	11 ページ分	９ページ分	10 ページ分

〔なつみ〕　製本って奥深（おくぶか）いんだね。今度、本そのものをよく見てみようかな。

令和七年